

Ⅰ. 地域の特徴を生かし価値を高める農業の推進



Ⅰ 主な施策

❖ 地域農業の発展を支える人材育成と多様な働き手の確保

❖ 収益性の高い農林作物の生産体制の確立

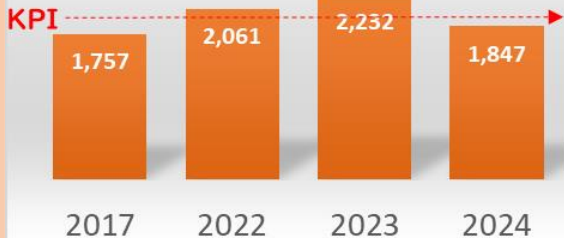
❖ 耕畜連携による付加価値の高い農業生産の推進と農林作物の販路拡大

Ⅱ 成果指標 (KPI) の実績

(1)

堆肥散布量
(羽黒町堆肥利用組合)

KPI 1,964t



(2)

小麦生産量
(月山高原農地委員会)

KPI 92t



Ⅲ 成果指標(KPI)の分析

(1)

羽黒高品質堆肥製造施設(以下羽黒堆肥センター)は高品質な堆肥の生産及び利用により、羽黒管内農業者への農業振興、有機農業の取組推進に寄与しつつ、管内畜産農家の畜糞受入れにより安定的な堆肥製造を維持できている。

また、環境保全型農業直接支払交付金事業との兼ね合いも良く、有機農業の取組みで堆肥の散布をしているため、通年の堆肥散布量が安定しているが、令和5年度に目標値を達成したものの当該年度需要に応じて散布量に増減が生じてしまっている。

(2)

2024年度の小麦作付面積は29.55ha(2023年度)から35.20haへ拡大し、10アールあたりの単収を237kg(2023年度の実績値)で推計すると生産数量は83t程度が見込まれる。

月山ろく畑作団地の生産者で組織されている月山高原農地委員会がの生産拡大、生産性向上の取り組みが着実に進捗していると考えられる。

Ⅳ 課題と今後の取組

(1)

○農業者へ堆肥の利用を促進し、有機農業の取組みを推進する。

○施設機材の不具合一つで散布量に大きく影響するため、日常的な管理を徹底していく。

(2)

○作付面積拡大や収量増加の取組にあわせて、販売量の増加の販売先の拡大を図ることが課題であることから、まちづくり未来事業により羽黒地域産小麦の販売促進活動の支援をおこなう。